

## 第2期計画策定時に出された主な意見(個別事業に対する意見等は除く)

項番	会議名	意見
1	平成30年度第3回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	病児と病後児は、利用の仕方が全く違うが市民には分かりにくいと思うので、丁寧な説明が必要。
2	平成30年度第3回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	子どもの貧困について、親の所得区分により親が抱える課題や子どもの自己肯定感に差が出ることは全国調査でも明らかになっているので、課題として取り組んでいく必要がある。
3	平成30年度第3回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	計画は国や県からの方針に基づき、数量的な側面でまとめていくことになる。審議会では質的な観点でも、サービスがどのくらい効果的なのか確認していく必要がある。
4	平成30年度第3回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	行政が行う事業の認知度が低いとアンケート調査結果に書かれている。しかし年度ごとの事業の評価はほとんどが目標を達成したことになっている。評価の仕方を、「何か所で、何回実施したか」というものではなく、「何人が参加したか」、「どれだけ周知でき、効果があったか」とすべき。
5	平成30年度第3回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	保護者が「どのようにして、子どもに向き合っているのか」、「どのようにして親として育てているのか」という考え方は今後も大切にしていきたい。
6	令和元年度第1回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	アンケート調査はきちんと数字が示されて科学的だが、窓口等で受けている相談内容もデータ化して計画に反映出来たら良い。
7	令和元年度第1回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	例えばクラスに何人くらい気になる子がいるのかを考えたら、市内全体でどのくらいの数字になるか推測できる。また、アンケート調査で1人しか言わなかった意見でも重要なものはある。そのようなマイノリティを拾う方法があると良い。
8	令和元年度第1回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	市の他の計画との関連性を分かりやすく示すことができれば良い。例えば、こちらの計画では概要のみ掲載しているが、他の計画でより詳細に手当てできているものがあるのかなど。
9	令和元年度第1回茅ヶ崎市子ども・子育て会議／令和元年度第2回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	計画には『『親育ち』が促進される地域の体制づくり』と記載があるが、どのようなものか明確化されていないので、施策に反映してほしい。
10	令和元年度第2回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	SDGsの視点が計画全体とどのように連動しているかが分かりにくい。
11	令和元年度第5回茅ヶ崎市子ども・子育て会議	市民にとって分かりにくい表現は、理解ができないだけでなく誤解を生む可能性もあるため、可能な限り分かりやすい書き方にできないか検討していただきたい。